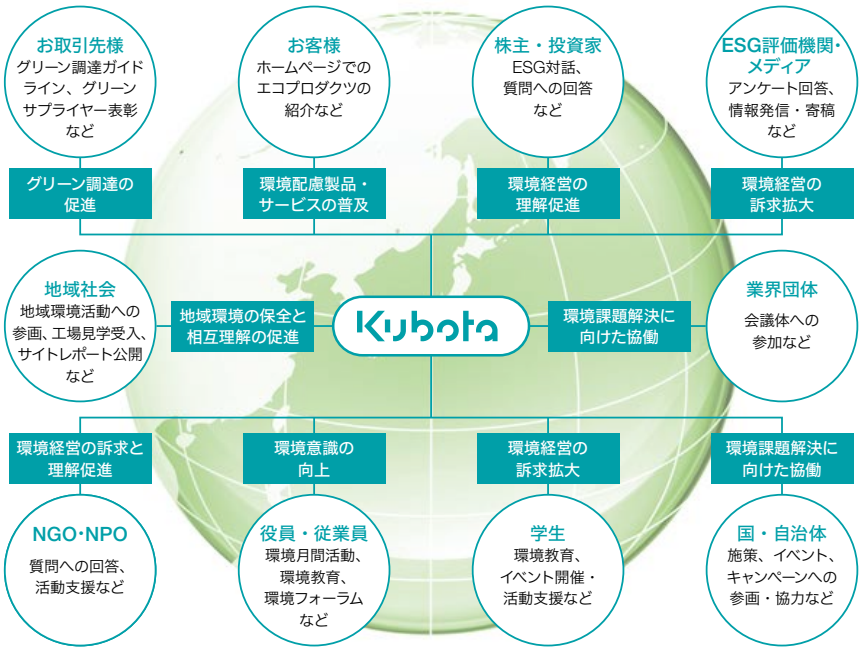
環境コミュニケーション

クボタグループでは、1999年度に初めて環境報告書を発行して以来、継続して環境情報を開示しています。事業のグローバル化にともない、環境情報開示においてもグローバルな取り組みをご理解いただけるよう、開示内容の充実を図ってきました。今後もステークホルダーとの対話を継続し、さらなる開示内容の拡充に向けて、環境省の環境報告ガイドライン、GRIスタンダード、TCFD提言などを活用し、国際的な規格に沿った情報開示につとめていきます。

事業所においては、地域の環境保全活動への参画、環境教育、自然環境の保護などの地域社会との共生に向けた環境コミュニケーション活動を通じて、地域の方々や従業員家族などの環境保全活動に対する理解促進を図っています。

環境コミュニケーション活動

クボタグループは、環境経営をグローバルで実践するにあたり、様々なステークホルダーとの対話などを通じ、相互理解を深めています。また、得られたご意見や知見などをふまえ、社会の期待や課題に向き合い、今後の環境経営の改善に活かしています。



環境に関する業界団体・行政との連携

クボタは、環境保全への取り組みにおいて、自社グループ内での活動に加えて、国・地方自治体や業界団体など、多様なセクターと連携して、取り組みを進めていくことが重要であると考えています。行政などが主体となって推進する事業やキャンペーンへの参画および、各種団体とのパートナーシップを通じて、相乗効果を生み出し、より効果的な環境保全活動を展開することをめざしています。

国の制度・実証事業・キャンペーンへの参画

クボタは、2010年5月に環境大臣より「エコ・ファースト企業」に認定され、同年から「エコ・ファースト推進協議会」に所属しています。同協議会を通じて、環境省への提案や意見交換、エコ・ファースト企業の環境保全活動の促進と企業間の連携強化、国民への環境意識啓発活動に取り組んでいます。また、環境省による低炭素社会実現に向けた気候変動キャンペーン「Fun to Share」、地球温暖化対策に資する賢い選択を促す国民運動「COOL CHOICE」や水循環や水環境保全に関する啓発プロジェクト「Water Project」に参画しています。さらに、投資家やNGOなどと企業のESG対話を促進するためのプラットフォーム「環境情報開示基盤整備事業」にも参画しています。

業界団体他への参画

クボタは、関西経済連合会などの加盟業界団体において、環境関連の各種委員会に参画しています。委員会活動を通じて、気候変動などの環境問題に対して企業が果たすべき役割について見識を深めるとともに、エネルギー・環境政策に関する情報共有や意見交換などを行っています。また、地球環境保全をグローバルで推進するイニシアティブにも積極的に参画しています。

●主な加盟団体

業界団体：（一社）日本経済団体連合会、（公社）関西経済連合会、（一社）日本産業機械工業会 など

環境イニシアティブ：気候変動イニシアティブ（Japan Climate Initiative）、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）

地方行政との対話と協働

クボタは、大阪市など地方行政やその関連団体における各種委員会への参画や、パートナーシップの構築につとめています。産官学連携での環境問題に関する議論や意見交換、活動への参加を通じて、協働しています。

●主な協働団体・パートナー

岐阜県「森林技術開発・普及コンソーシアム」、大阪市「環境経営推進協議会」、大阪府久宝寺緑地前「スポンサー花壇」、

福井県大野市「Carrying Water Project」　など

気候変動関連の情報開示

クボタグループは、気候変動への対応を環境経営のマテリアリティの一つとして捉え、環境に配慮した製品・技術・サービス・企業活動を通じて、気候変動への対応を進めています。さらなるステークホルダーとのコミュニケーションを図るため、当社は、2020年1月に気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言※へ賛同を表明しました。

今後も、KUBOTA REPORTやホームページなどを通じ、開示情報の拡充につとめていきます。

※ TCFD提言とは、企業に対して金融市場向けの気候関連情報の開示フレームワークを示したものです。提言は、気候変動がもたらすリスクおよび機会の財務的影響やその対応状況など、「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」に関する企業の自主的な把握と情報開示を求めています。

TCFD提言による開示推奨事項	関連箇所	掲載ページ
ガバナンス		
a. 気候関連のリスクおよび機会についての取締役会による監督体制を記述	「環境経営推進体制」 「コーポレートガバナンス体制」	P33 P152
b. 気候関連リスクおよび機会を評価・管理する上での経営者の役割を記述	「環境経営推進体制」	P33
戦略		
a. 組織が選別した短期・中期・長期の気候関連のリスクおよび機会を記述	「環境経営のアプローチ – マテリアリティ」 「環境経営のアプローチ – リスクと機会」	P30 P31
b. 気候関連のリスクおよび機会が組織のビジネス・戦略・財務計画に及ぼす影響を記述	「環境経営のアプローチ – リスクと機会」 「環境経営のアプローチ – 重点施策」	P31 P32
c. 2°C 以下のシナリオを含む様々な気候関連シナリオに基づく検討をふまえ、組織の戦略のレジリエンスを記述	(今後、開示を検討)	–
リスク管理		
a. 組織が気候関連のリスクを識別・評価するプロセスを記述	「環境経営のアプローチ – マテリアリティ」	P30
b. 組織が気候関連リスクを管理するプロセスを記述	「環境経営のアプローチ – マテリアリティ」 「環境経営推進体制」 「内部統制 – 内部統制システム」 「内部統制 – 内部統制システムの運営活動(リスク管理活動)」	P30 P33 P158 P158
c. 組織が気候関連リスクを識別・評価・管理するプロセスが組織の統合的リスク管理にどのように統合されているかを記述	「環境経営推進体制」 「コーポレートガバナンス体制」 「内部統制 – 内部統制システム」	P33 P152 P158
指標と目標		
a. 組織が、自らの戦略とリスク管理プロセスに則して、気候関連リスクおよび機会を評価する際に用いる指標を開示	「環境保全長期目標 2030」 「環境保全中期目標 2020」 「気候変動の緩和 – CO_2削減対策」 「環境教育・啓発 – 環境功績賞」	P35 P36 P39 P75
b. スコープ 1、スコープ 2、および当てはまる場合はスコープ 3 の温室効果ガス(GHG)排出量と、その関連リスクを開示	「気候変動の緩和 – バリューチェーンを通じた CO_2排出量」	P41
c. 組織が気候関連リスクおよび機会を管理するために用いる目標、および目標に対する実績を記述	「環境保全長期目標 2030」 「環境保全中期目標 2020」	P35 P36

環境に関する社外評価

CDPウォーターセキュリティ2019で「A」、CDP気候変動2019で「A-」を獲得

クボタは、CDP※による水セキュリティに関する調査「CDPウォーターセキュリティ2019」において、最高位のAリスト企業に選定されました。当社がウォーターセキュリティでAリスト企業に選定されるのはCDP2017以来、2年ぶり2回目となります。また、CDPによる気候変動に関する調査「CDP気候変動2019」では、8段階中2番目の「A-」評価を獲得しました。

クボタグループは、気候変動への対応と水資源の保全を重要課題（マテリアリティ）の一つとして捉え、今後もグローバルな事業活動を通じて、より一層社会に貢献していきます。

※ CDPは、2000年に英国で設立した非営利団体で、機関投資家と連携し、企業や都市に気候変動、水、森林に関する戦略やデータの開示を求め、回答に基づく分析・評価を行い、機関投資家などに結果を開示しています。

環境に関する社外表彰

『KUBOTA REPORT 2019』<フルレポート版>が「第23回環境コミュニケーション大賞」の環境報告書部門で「優良賞」を受賞

クボタが発行している『KUBOTA REPORT 2019』〈フルレポート版〉が、第23回環境コミュニケーション大賞（環境省および一般財団法人地球・人間環境フォーラムの共催）の環境報告部門において「優良賞」を受賞しました。

「環境コミュニケーション大賞」は、CSR報告書や統合報告書、環境経営レポートなどあらゆる媒体の中で、マルチステークホルダー向けの優れた環境報告を表彰することで、事業者を取り巻く関係者との環境コミュニケーションを促進し、環境への取り組みが一層活性化することを目的とした表彰制度です。

当社が受賞した「優良賞」は、一定水準以上の優れた報告書で、同業他社や同等事業規模の事業者の模範となる優良な報告書を表彰するもので、昨年に引き続き2回目の受賞となります。

環境コミュニケーション大賞
優良賞受賞ロゴマーク

久保田環保科技（上海）有限公司が「緑英賞」を受賞

久保田環保科技（上海）有限公司（KEES）は、2019年5月、北京で開催された第12回中国環境産業大会で「緑英賞」を受賞しました。

「緑英賞」は、環境分野において先進的で優れた企業に贈られるもので、4度目の受賞となります。今回は「MBR（膜分離活性汚泥法）および浄化槽設備の模範企業」として表彰されました。これまでもKEESが販売している製品・サービスの優位性が評価され、「平膜製品製造模範企業」、「汚水分散処理設備競争力優先企業」、「水処理設備及び総合サービス模範企業」として同賞を受賞しています。

「緑英賞」の表彰盾

SIAM KUBOTA Corporation Co., Ltd.（本社工場）とKUBOTA Engine (Thailand) Co., Ltd.がGreen Industry Awardを受賞

タイに所在するSIAM KUBOTA Corporation Co., Ltd.（本社工場）とKUBOTA Engine (Thailand) Co., Ltd.は、環境へ配慮したクリーンな工場であるとして、2019年にタイ政府より「Green Industry Award」を受賞しました。両拠点ともに、5段階評価（Level5が最高）のうち、環境保全活動が会社の文化として根づいていることを評価する「Level4」を受賞しました。

同賞は3年間の認証期間があり、これまでにSIAM KUBOTA Corporation Co., Ltd.（アマタナコン工場）が「Level4」、SIAM KUBOTA Metal Technology Co., Ltd.、KUBOTA Precision Machinery（Thailand）Co., Ltd.が「Level3」を受賞しており、現在もGreen Industryとして認められています。

「Green Industry Award」の表彰状

P.T. Kubota Indonesiaが9度目の「BLUE PROPER賞」を受賞

P.T. Kubota Indonesia（インドネシア）は、2018年から2019年にかけた一年間の企業活動に対し、インドネシア政府の環境大臣より9度目の「BLUE PROPER賞」を受賞しました。「PROPER（The Environmental Performance Rating Program）」と呼ばれるインドネシア環境省の格づけプログラムでは、企業の環境規制に対する遵守状況と、環境対策の実施状況を評価し、一般公開しています。これにより、企業の環境管理に対する意識向上と、省エネルギー、生物多様性保全、コミュニティ開発等の実施を促進しています。

受賞した「BLUE PROPER賞」は、環境規制を100%遵守し、適切に環境マネジメントシステムを運用している企業に与えられるものです。今後も引き続き、環境マネジメントの強化に取り組んでいきます。

「BLUE PROPER賞」の表彰状

環境コミュニケーションレポート

実践レポート

近隣の小学校において環境教育を実施

KUBOTA Engine (Thailand) Co., Ltd.（KET）（タイ）は、毎年、近隣の小学校を訪問しCSR教育を実施しています。その一環として、環境意識の啓発を目的とした植樹活動やマイボトルの配布など、様々な環境教育を行っています。2019年は、植樹活動に加え、野菜の植え付けを行いました。

KETは今後も小学校での教育活動を継続し、地域住民とのコミュニケーションを図りながら、地域の環境保全活動に貢献していきます。

小学生との集合写真

植樹活動